

かかみがはら ART×BRIDGE

望月鮎佳展 -あつまるアニマル-


2021年10月14日〔木〕 - 11月9日〔火〕

主催 各務原市 後援 各務原市教育委員会・各務原市文化協会
協力 カカミガハラパークブリッジ・飛騨五木株式会社

ひつじスタンプ
産業文化センター

うしスタンプ
学びの森

にわとりスタンプ
市民公園

 **かかみがはらアートピクニック**
ART 10/24 市民公園
PICNIC スタンプラリー開催

「産業文化センター1F エントランス」と
「学びの森」と「市民公園」の3か所を
イメージしたスタンプを押しましょう!

望月 鮎佳

Ayuka Mochizuki

—プロフィール—

- 1992年 岐阜県各務原市に生まれる
2011年 岐阜県立加納高等学校（美術科 油絵）卒業
2016年 岐阜大学教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育講座卒業
2017年 望月鮎佳彫塑作品個展「躍動する命」 岐阜大学医学部附属病院1Fサロ
2018年 第12回岐阜アートフォーラム「純情動物園Ⅰ」上宮寺
岐阜大学大学院 教育学研究科 総合教科教育専攻卒業
2019年 第13回岐阜アートフォーラム「純情動物園Ⅱ」上宮寺
2020年 第14回岐阜アートフォーラム「コネクト展」上宮寺
第68、70回岐阜市美術展市長賞/第69回岐阜県美術展県展賞
第69回岐阜市美術展市長賞

木彫を中心に「生きる」というテーマで造形的な生命表現を模索している。大学時代は馬術部に所属。命の尊さに触れ、懸命に生きる家畜の姿を彫ることで、命と向き合いたいと考えている。現在、各務原市内の中学校美術教師として勤務。

①ヤギ「永遠に、はぐむ」

1400mm×450mm×850mm プナ

2016年

岐阜大学の農場に、老いた雌のヤギがいました。名前はミルク。痩せ細り、動く力もない。もう別れが近いのだなあ、と心配していたある日の事、まさかのまさか！ミルクの出産に立ち会う事になったのです。彼女は2匹の赤ちゃんを身ごもっていました。壮絶で感動的な体験でした。こうして命が繋がっていくのだと、生命の神秘や母の強さを感じました。

②牛の頭身「生きた」

900mm×2200mm×1600mm クス

2016年

牛の骨格の美しさ、迫力を表現するために制作に取りかかった矢先、「出荷」を宣告されてしまいました。純粋にのびのびと生きていた彼女ですが、突然、終の道を歩む事になってしまった悲しみを今でも鮮明に覚えています。この出来事をきっかけに、「生と死」が作品作りにおける大きなテーマとなりました。名前は「カスタード」、あなたは私や作品を見てくださった方々の心の中に生き続けます。

③ニワトリ「威風堂々」

660mm×250mm×580mm イチョウ

2021年

ニワトリの勇ましい姿に魅了され、この子が2羽目の作品となりました。全身から漂う威厳を壊さないようにするため、あえて目や口ばしの細部を省いています。制作中、あのエドワード・エルガー作曲の「威風堂々」が自然と頭に流れてきました。



羊の親子「Baa-ram-yew」

④親ひつじ 650mm×1080mm×550mm

イチョウ 2021年

⑤子ひつじ 750mm×350mm×400mm

木で柔らかい羊毛の質感をどのように表すことができるか悩みました。課題は山積みです。作品に向き合う時間が長ければ長いほど、木がそれに応えてくれることだけは実感しています。木も呼吸している。優しい気持ちで、これからも木と対話しながら自分の表現を模索していきたいと思います。

THE BIRDS「Birds of a feather」

⑥カモ 430mm×230mm×330mm イチョウ

2021年

⑦アヒル親子 670mm×450mm×490mm

イチョウ 2021年

⑧アヒル 400mm×300mm×500mm イチョウ

2021年

フォルムの美しさ、くちばしが魅力的です。仲間と生活することの心地よさや穏やかな空間を作ろうと試みました。

⑨ブタ「Piggy」

700mm×300mm×450mm イチョウ

2018年

中学校美術室にいる番人です。名前は「ピギー」。生徒がつけてくれました。たくさんの方がなでくれるので喜んでます。優しい性格で、みんなの事をいつも見守っています。（彫刻刀で怪我をしませんように！）

⑩木と鳥「木の精」

400mm×400mm×1460mm ヒトツバタゴ

2021年

この土地に生えていた木です。

これからも豊富な木と動物たちが豊かに暮らす地域である事を願っています。

⑪クマの親子「だいすき」

750mm×670mm×1450mm ニセアカシア

2021年

この木はもともとこの土地に生えていたものです。みずみずしく、温かな色合いの木肌をもつニセアカシアの木は、クマの親子になりました。新たに建てられたカミガハラパークブリッジをイメージして作りました。テーマは「親子の絆」です。親熊は、子どもの輝く未来と変わる事のない愛情を見つめています。

⑫牛の頭「乳牛」

700mm×350mm×450mm イチョウ

2013年

岐阜大学の牛舎が好きで、よく遊びに訪れました。そこで一目惚れした牛、名前はマロニー。大学2年生のときに木彫と出会い、これが初作です。頭のこぶ、目の大きさに感動し、見れば見るほど牛をととも愛おしく感じました。

⑬モルモット「モルちゃんズ」

670mm×250mm×200mm イチョウ

2021年

モルモットは人懐っこい性格で、なでると「クルルル」と喜んでくれます。3匹は家で飼っていた子です。

⑭ロバ「Donkey」

1600mm×630mm×1580mm カエデ・トチ、セン

2017年

畜産センターの陽気なロバ、「わび助」がモデルです。大きな耳、哀愁漂う表情が魅力です。ロバは昔から、農作業や物の運搬に使われてきましたが、トラクターや車の普及により徐々に必要とされなくなってしまいます。また、ロバ皮から精製する葉の需要が高まり、その数は激減してしまいました。この作品を通して、少しでも彼らを敬い、寄り添っていかれたらと思います。

⑮白岩ヤギ「己との戦い」

950mm×400mm×1080mm イチョウ

2020年

これは、アメリカやカナダの寒さが厳しい岩山に生息する白岩ヤギ(mountain goat)です。白岩ヤギは、オオカミなどの外敵から身を守るために急な崖をすみかとしています。彼らが常に危険と隣り合わせで懸命に生き抜く姿は、今を生きている私たちに勇気を与えてくれます。ぜひ、白岩ヤギの底知れぬパワーを受け取っていただけたら嬉しいです。

⑯イノシシ「なかよしイノシシ」

750mm×450mm×740mm イチョウ

2019年

森で暮らすイノシシの親子をイメージして作りました。野生の力強さをチエンソーの荒々しさだけで表現してみようと思いました。

